

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【公開番号】特開 2000-202257 (P2000-202257A)
【公開日】平成 12 年 7 月 25 日 (2000.7.25)
【出願番号】特願 平 11-7545
【国際特許分類第 7 版】

B 0 1 D 71/64

B 0 1 D 61/02

B 0 1 D 69/12

【F I】

B 0 1 D 71/64

B 0 1 D 61/02 5 0 0

B 0 1 D 69/12

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 7 月 1 日 (2004.7.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 7】

本発明の分離機能層の被覆はポリマーをコーティングする方法、コーティングしたポリマーをさらに架橋する方法、モノマーを多孔性支持膜の膜面で重合する方法、あるいは多孔性支持膜の膜面で界面重縮合する方法で行うことが出来る。特に、本発明で言う表面に尖端が略球状の突起を有する分離機能層は多孔性支持膜の膜面で界面重縮合する方法で得ることが出来る。この際、界面重縮合の各溶液の濃度、添加剤を変えることによって略球状の突起の大きさを制御することが出来る。また水と非混和性の溶媒に炭素数 7 以上の炭化水素を用いることも本発明の分離機能層を得るために効果がある。